

日々の地域実績



整備後



高玉町1丁目

T字路交差点 注意点字整備

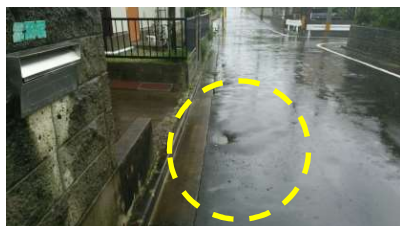


整備後



高玉町1丁目

停止線の引き直し



整備後



南光台4丁目

陥没道路の改修

先進事例の視察②



射水市：公認コースの現場視察
(下村パークゴルフ場) 3月23日



射水市：パークゴルフ視察
(射水市役所) 3月23日



6月4日 市長へ緊急要望書提出！

新潟市内の女子児童殺害事件が発生
通学路の更なる安全対策を推進を提案！

<要望内容>

- 一. 防犯カメラ設置補助事業の更なる拡充と周知
- 二. 防犯ブザー交付補助事業対象校を拡充し、子ども自身が備えをおこなえるようにすること
- 三. 防犯ブザーの定期点検を実施し、緊急時対応ができるようにすること
- 四. 子ども見守りの「こども110番の家」の協力者増加を促すこと
- 五. 通学路で死角となる場所の点検実施と対応・対策を実施すること



HP QRコード



<委員会>

市民教育委員会 (H27年度)
健康福祉委員会 (H28年度)
都市整備建設委員会 (H29年度)

<特別委員会>

環境・IT・政策調査特別委員会
(H27年度～)

防災・減災推進調査特別委員会
(H29年度)

<広報委員会>

副委員長 (H29年度～)

泉区市議会通信

佐藤ゆきお

SATO YUKIO

VOL.12

一人の声を市政に
つなぎます

VOL.12

2018年8月発行

発行元／仙台市議会公明党市議団

仙台市議会議員 佐藤 幸雄

仙台市泉区南光台1-56-15-1

TEL 022-272-4863

Email
yukio@sendai-komei.jp

第2回定例会

一般質問（抜粋）平成30年6月

1. 子育て支援の拡充を提案

【佐藤幸雄議員】待機児童「ゼロ」の実現は期限を決めて「必ず結果を出すのだ」との強いリーダーシップにかかっていると思う。明確な期限を決めてのお取り組みについて伺う。

【市長】今年3月に保育基盤の整備計画の見直しを行い、今後3年間で定員の拡充を図ることとした。引き続き、多様な保育基盤の整備に努め、保育人材の確保も図りながら、**2020年度末には待機児童が解消**できるよう鋭意取り組んでまいりたい。

【佐藤幸雄議員】子育てしやすい県を推進してきたことが、本年、富山県が「住みたい都市 全国第10位（前回の13位からランクアップ）」となった。まさに子育て支援に力を尽くしたことが、このランキングにも表れている。本市としても 段階を踏んでも富山県が推進している家事サービスや絵本購入等に利用できる「**子育て応援券**」事業を検討すべきだと思うが所見を伺う。

【子ども未来局長】「子育て応援券」のような多様なサービスの利用券については、子育て家庭の経済的負担などの軽減を図る効果が期待される。利用対象とするサービス内容や財政負担等の課題もあることから、**他都市の状況を踏まえ**、今後のあり方について研究してまいりたい。



2. パークゴルフ場の公認コース整備の先進事例を提案

【佐藤幸雄議員】本市として今後、超高齢化社会に向けて「健康増進」と「交流人口拡大」及び「被災地のにぎわいの創出」のために、日本パークゴルフ協会公認の「36ホール」を整備する際には **先進事例を取り入れ、推進すべき**と思うが所見を伺う。

【建設局長】今後、パークゴルフ場について、27ホール化による公認コースの認定に向け整備を進めていくが、将来の36ホール化を目指すに当たり、他都市の先進事例や利用者等のご意見を参考に、**被災地のにぎわいの創出にもつながるよう整備**を行ってまいりたい。

3. 窓口業務（区役所）の待ち時間の解消策提案

【佐藤幸雄議員】岐阜市では窓口業務を民間事業者へ委託する事で、事業費の効果は**3年間で7,627,680円の経費削減**となっており、窓口のアンケート調査でも、全ての項目において**満足度が向上**したこともわかった。

今後、様々な市民サービスのニーズに応じていくためには、検討すべきと考えるが所見を伺う。

【市民局長】現在各区役所において、異動届の受付の際に、国保・介護保険証の住所変更や転入学児童生徒などの手続きを一括して実施している。窓口業務の現状分析や**業務委託のあり方、ICTなど先進技術の活用等の検討も行いながら**、窓口サービスの運用に努めてまいりたい。

4. 高齢ドライバーの事故を防ぐ取り組みを提案

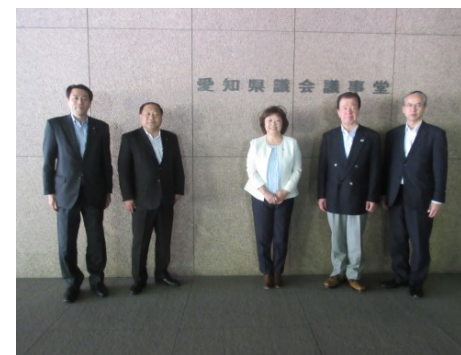
【佐藤幸雄議員】本市にて推進している「乗合タクシーやコミュニティバス」などを免許返納の代替策と提案して行く事も必要である。資金不足の改善を行う「交通局」、交通事故防止を推進する「市民局」、地域公共交通を推進する「都市整備局」がしっかりと連携し、**「高齢者の自動車事故」の削減**に取り組むを進めて行くべきである。所見を伺う。

【市長】免許返納後の移動手段が確保できない等の理由から、返納できない方も依然いることも承知している。今後、事故の防止につながりますよう、安全運転を所管する部署のみならず、交通政策や地域での支え合いの体制等を所管する部署など、**関係部局で連携して取り組んでまいりたい。**

—— 先進事例の視察① ——



富山県：子育て支援の取り組み等の視察（富山県庁）3月23日



愛知県：子育て支援の取り組み等の視察（愛知県庁）5月23日



岐阜市：窓口業務の待ち時間解消策等の視察（岐阜市）5月23日